

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2021年12月27日

カーボンニュートラルの実現に向けた目標の設定

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）では、カーボンニュートラルの実現に向けて、新たな中長期目標を設定しましたのでお知らせします。

当行では中期経営計画において、2023年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減するという目標を掲げています。今般、新たに目標を設定したのは、カーボンニュートラルの実現に向けてグループ全社がさらに意欲的に取り組む方針を決めたものです。

当行は地域のリーディングバンクとして温室効果ガスの排出削減に率先して取り組むとともに、お客様の環境対策のご支援を通じ、地域と一体となって脱炭素社会の実現を目指します。

1. カーボンニュートラルの実現に向けた中長期目標

- ①2030年度までに温室効果ガス排出量（Scope1,2）のネットゼロを目指します。
- ②2050年度までにサプライチェーンを含む温室効果ガス排出量（Scope1,2,3）のネットゼロを目指します。

※関連会社を含む当行グループの排出量（温室効果ガス排出量算定基準 GHG プロトコルに基づく Scope1（直接排出）、Scope2（間接排出）、Scope3（事業者の活動に関連する他社の排出））

2. 当行グループでの取り組み

当行では、これまでも営業店の照明のLED化や一部店舗の屋根を活用した太陽光発電等の環境負荷低減の取り組みを進めてまいりました。今後、さらにこの動きを加速させ、省エネルギー設備への更新、行用車への電気自動車導入、再生可能エネルギーの活用等を順次取り組み、当行グループの温室効果ガス削減を進めてまいります。

3. 地域の脱炭素社会の実現への取り組み

2021年10月に、社会課題・環境課題解決に資する投融資を2030年度までに累計1.5兆円（うち環境ファイナンス5,000億円）実行する意欲的な目標を掲げ、本業を通じた脱炭素社会の実現に貢献する取り組みを進めています。

4. サステナビリティ経営を支える体制強化及び情報開示の充実

当行では、気候変動対応を含む環境課題や社会課題への対応を重要課題として認識し、2021年5月に設置した「サステナビリティ委員会」や取締役会等で議論できる体制を構築しています。また、気候変動対応やカーボンニュートラルへの取り組み状況は、「統合報告書」及び「サステナビリティレポート」等を通じて、積極的な情報開示を行ってまいります。

以上

